

今年は特に
注意！

水稲 適期収穫の徹底について ～刈り遅れによる等級低下を防ぐために～

令和6年7月

全農千葉県本部・千葉県

1. はじめに

本年の出穂は例年よりも7日程度早くなっています。さらに梅雨明け後の高温により、登熟が早まり収穫適期が想定より前倒しになる心配があります。昨年発生が散見された、**胴割粒や茶米**の多発は刈り遅れが要因で、**品質・食味の低下**を招きます。

また、例年より葉色が薄い場合や水が不足している圃場は特に成熟期が早まる可能性がありますので、刈り遅れにならないように注意しましょう。

2. 刈取時期の判断について

水稲の刈取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と、**帯緑色籾歩合**による判断があります。出穂から刈取りまでの日数は品種により異なりますので注意しましょう。

また、高温や天候不順などによっては刈取りまでの日数に大きく影響を与えますので、出穂後日数は目安とし、登熟をしっかりと確認（「**帯緑色籾歩合15%***」）して収穫しましょう。

表 出穂から刈取りまでの日数の目安

品種	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	粒すけ
出穂後日数	33日	37日	38日	38日

※出穂期後が高温だと上記日数より3～5日程度早まります。

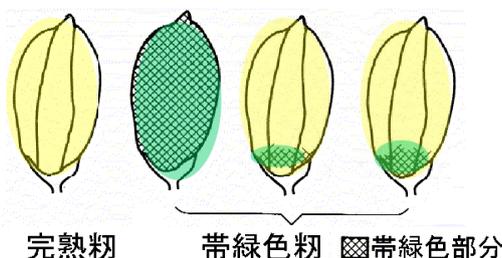


図 帯緑色籾の見分け方

※帯緑色籾歩合とは籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のことで、帯緑色籾歩合15%の時に収穫を行います。



内が帯緑色籾
(平均的な株の長い穂を見る)